

第1学年 音楽科学習指導案

1 題材名 イメージと音楽

教材名 鑑賞 映画「ジョーズ」から“ジョーズのテーマ”（ジョン ウィリアムズ作曲）

2 題材について

《学習指導要領とのかかわり》

B 鑑賞 (1) ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

[共通事項] ア (ア) 強弱 速度 リズム 旋律 音色

(1) 題材観

現代社会では、常に音楽が生活の中で流れている。テレビからCMやドラマの音楽、店など流れるBGM的な音楽、ゲームの音楽など音楽は溢れている。また、そこで好きになった曲は、インターネットからすぐに取り込み聴くことができる。また、スマートフォンや携帯型の音楽機器により、歩きながら、電車に乗りながらなどいつでもどこでも音楽を聴くことができる。

しかし、生徒たちは、好きになった音楽のどのようなところが好きになったのか、理由を聞くと「なんとなく」とか「心が落ち着くから」とか「ノリやすいから」などと答える。これは、音楽を全体的にはとらえているが、音楽の細かなところや深いところまで理解できていないと思われる。指導者としては、音楽を形づくっている要素と関連させて音楽を聴くことができるようになれば、より音楽を深く感じ取ることができ、音楽のよさを実感できると考える。

第1学年の鑑賞活動では、[共通事項]との関連を図りながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わう能力を育てていくことが指導のねらいである。この題材では、学習指導要領B鑑賞(1)「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」を指導内容とした。また、[共通事項]の強弱、速度、リズム、旋律、音色を支えとして聴き取らせていきたい。

小学校4年生では、「拍子やリズムの特徴」、「旋律の特徴」を感じ取る学習を行っている。そして、5・6年生になって「ハンガリー舞曲」や「威風堂々」などの鑑賞教材で「音楽を形づくっている要素」と「曲想の変化」を関連させて聴き取る学習や、「アルルの女」では木管楽器の音色の特徴と楽曲の構造等について学習してきている。

中学校に入学してから3か月である1年生は、音楽の学習も10時間足らずであり、鑑賞の学習も中学生としては本題材が始めてである。

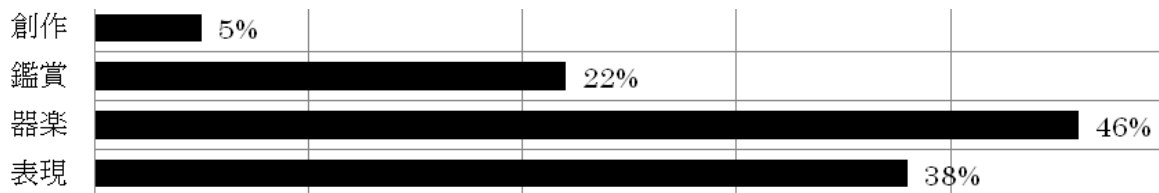
そこで、小学校6年生での「ハンガリー舞曲」で学習した「曲想を感じ取ろう」という学習を踏まえて、さらに中学校では、音楽を形づくっている要素や構造の働きを感じ取ると同時に、それらによって自分の内面に生まれる様々なイメージや感情を関わらせながら聴き、根拠をもって自分の言葉で説明できるようにし互いの音楽感を高め、より深く音楽のよさや美しさを味わう力を付けていけると考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態 (男子19名 女子18名 計37名)

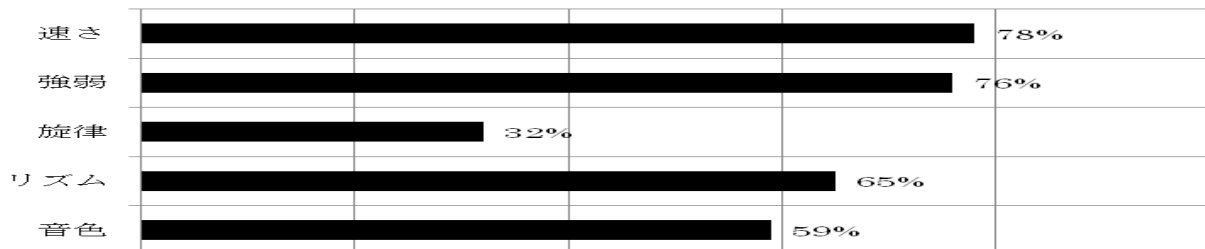
中学校に入学して3ヶ月であるが、体育祭や校歌コンクールを経て学級としてのまとまりができつつあり、学習に対しても意欲的に取り組んでいる。

以下、鑑賞に関して生徒のアンケートである。

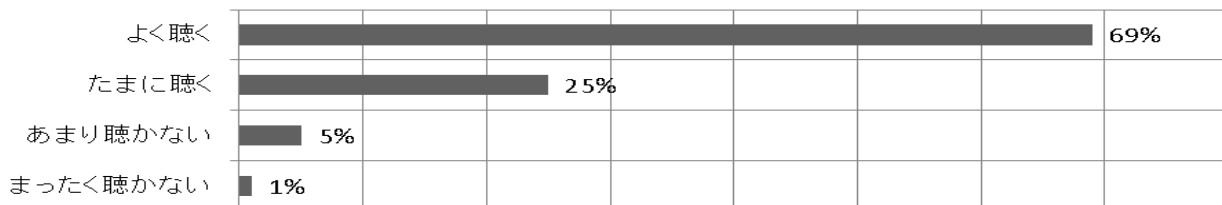
小学校の音楽の授業で印象に残っている授業内容は？



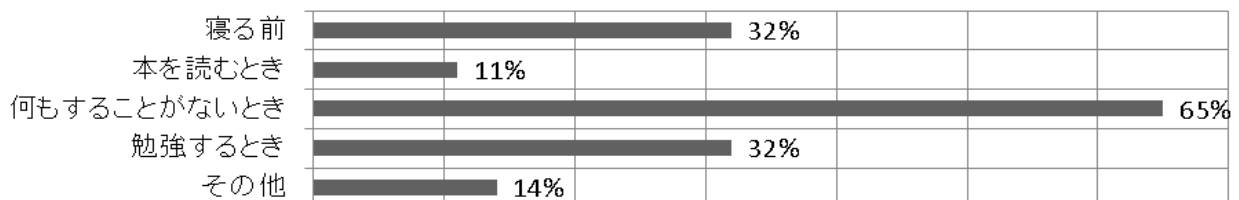
聴いていてわかる音楽を形づくっている要素は？



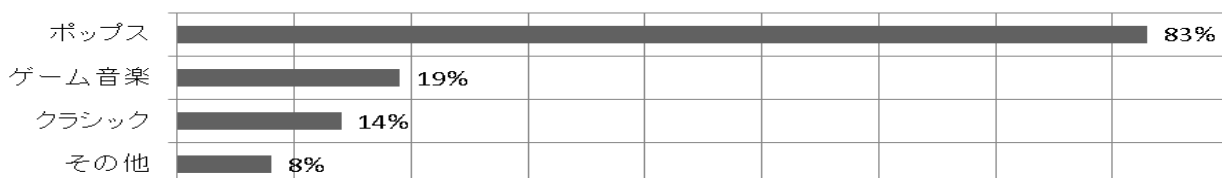
普段の生活の中で音楽を聴きますか？



どのようなときに聴きますか？



よく聴く音楽のジャンルは？



〈考察〉 アンケートの結果から、「小学校の学習で印象に残っている学習は」という問いでは、多くの生徒が歌唱や器楽の学習をあげている。また、印象に残っている曲名では、行事において歌った曲や歌うことは苦手であると思っている生徒も、器楽合奏では合わせることの楽しさを感じ取れたと答えている。

生活の中では音楽を聴く機会は大変多く、特にポップスを聴いている。しかし、学校の鑑賞の学習が印象に残っている生徒は22%で少ない。印象に残っている理由は、「作った人の心情などが読み取れるから」とか「曲によって強さ・速さが違っていておもしろい」という内容をあげている。また、印象に残っている曲としては「木星」「剣の舞」と答えている。

このような結果から、生徒にとって音楽は大変身近なものであるといえる。音楽を聴く理由は、「その曲が好き」だからと答えている生徒が多い。しかし、その音楽を好きになるのは、「なんとなくメロディーが気に入った」「ノリがいい」など、漠然とした理由である。

小学校の学習の中で、音楽を形づくっている要素として、速さや強弱については、聴き取ることができる生徒多いが、旋律についてはわからないという生徒が多い。これは、旋律とは、どのようなことなのかわかっていないことに起因すると思われる。

そこで、本題材を学習し、さらに音楽を形づくっている要素とはどういうところを聴けばよいのか、その要素に気を付けて聴くようになれば、その音楽のよさを深く感じ取ることができるようになると思われる。

(3) 指導観

ジョーズのテーマは、映画音楽である。映画音楽は、映像やストーリーを一層明確にし、聴衆にわかりやすく伝えるためにつくられたものであるから、それぞれの曲からはっきりとしたイメージを感じ取ることができると思われる。

また、イメージを明確にする映画音楽では、映画の中の場面描写や緊張感、登場人物の心情など、音楽を形づくっている要素との密接な結び付きについて理解することができる考えた。

そこで、音楽の醸し出すイメージがどのような音楽の要素から生み出されるかを聴き取り、考えさせることで、本題材に迫らせたい。

そして、この学習をきっかけにして、常に音楽を形づくっている要素と関わらせて音楽を聴くことを意識できるようにしていきたい。そうすることで、よりその音楽を深く聴くことができ、その音楽のよさを根拠をもって説明できるようになると思われる。

3 題材の目標

イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽を形づくっている要素や構造とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

5 研究の視点について

【視点1】 9年間を見通した学び方の共有

- 鑑賞の学習では、音楽を形づくっている要素に着目して聴くことから、その曲のもつよさやイメージにつなげていく。
- 音楽を聴いて、感じ取ったことなどを言葉にするための手立てとして、掲示物やワークシートなどで表現の仕方を例として示していき、学年が進むにつれ語彙が増えるようにしていく。

6 題材の指導計画（1時間計画）

次	時	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準
第1次		ねらい イメージをもたらす音楽と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って音楽のよさを味わっている。	
	第1時(本時)	<p>○楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全曲を通して聴き、どのような感じがしたかをワークシート記入し、発表する。 ・感じたことを発表し、なぜそのような感じがしたかワークシートに記入し、発表する。 	<p>楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p>
		<p>○楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律を色々な音の高低で演奏したり、楽器の音色を変えて演奏したり比較鑑賞し、感じ方がどのように違うか意見交換する <p>○知覚、感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全曲を通して聴き、楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱と楽曲の雰囲気とのかかわりを感じ取る。 ・「ジョーズのテーマ」のよさや面白さを友達に紹介する。 ・互いに紹介文を交流する。 	<p>楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>(鑑賞の能力)</p>

7 本時の学習(1/1)

(1) 目標

イメージをもたらす音楽を形づくっている要素に気付き、音楽のよさを味わっている。

(2) 展開

学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準〈評価方法〉
<p>1 本時の目標をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 音楽を聴いたとき、感じるイメージはどこからくるのかその秘密を探ろう ～鑑賞の探検～ </div>	<p>○ 本時の目標を示す。青色のチョークで囲む。</p>
<p>2 楽曲を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全曲を聴いて感想を付箋に書く。 <p>【生徒の予想される感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇何かが迫ってくるような感じ ◇怖い ◇恐ろしい ◇襲われる感じ ◇ドキドキ ◇力強い ◇何か出てきそう ◇重いような感じ ◇危険が迫る感じ <ul style="list-style-type: none"> ・グループになり互いの感想を『まなボード』にまとめる。 ・いろいろな感想があることを知る。 <p>3 楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全曲を聴いて、始めに聴いた感想が音楽のどのようなところから感じたのか理由を話し合う。 ・グループになって、音楽のどのようなところから感じ取ったのか感想を『まなボード』にまとめる。 ・『まなボード』にまとめた意見を楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱と感想と結びつける。 ・テーマのメロディーの音の高さを変えて弾き、感じ方がどのように違うのか感じ取る。 ・テーマのメロディーのリズムをだんだん細かくしたり、音価を長くしたりして感じ方がどのように違うのか感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の感想を上手く表すことのできない生徒には「音楽を表す言葉」のプリントを参考にするように助言する。 ○ 付箋には一意で書くようにさせる。(話し合う時のため) ○ 言葉で表現できない生徒には、色で表したりどのような場面に流れてくるような音楽か想像したりするように助言する。 ○ グループは座席の前後4人組を作る。 ○ 同じ感想と違う感想とまとめるようにさせる <ul style="list-style-type: none"> ○ 始めに『まなボード』に貼った感想を見ながら、音楽のどこからそのイメージがきたのかせられる。 ○ ○ まとめるときに、どのようなところで感じたのか意見を言い合いながらまとめるように助言する。 ○ 同じ意見同士をまとめたものが、音楽を形づくっている要素のどれになるか相談させる ○ おんがくを形づくっている要素がわからない生徒には、楽器の音色やリズムとはどういうところを聴けばよいかオルガンで弾いて教える。 ○ CDを用意し自由に聴き、互いの感想を確認させる。

<p>【生徒の予想される理由】</p> <p>◇テンポが速くなっている ◇始めの音が低い ◇強くなったり弱くなったりする ◇太鼓の音 ◇激しく強い音 ◇はねるような感じ</p> <p>4 楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で『学んだこと』『わかったこと』『知ったこと』をまとめる。 ・イメージはどこからくるのか班でまとめる。 ・「ジョーズのテーマ」のよさや面白さなどを友達に紹介文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音の高低の変化やリズムの違い、音色の変化などの違いからくる音楽の感じ方を参考にし、全曲を聴くように助言する。 ○ 「今日の目標」ふりかえさせる。 ○ 自分が音楽から感じたイメージを紹介文に入れるように助言する。 ○ 友達に聴いてもらえるように紹介する文章を作るように促す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p style="text-align: right;">(鑑賞の能力) <発表・ワークシート></p> </div>
--	--

* 『まなボード』・・・協働学習、グループ学習用教具 (挟む 書く 掲示することができるホワイトボード)